

---

---

## ホットニュース(平成18年度／第97号)

---

---

### ●今月の業界ホットニュース／「ロンドンプラン」と国際都市

---

---

「ロンドンプラン」の翻訳を監修された青山やすし元東京都副知事の講話を聴く機会があった。10年前は閑古鳥が鳴いていたドッグランドが、近年活況を呈している状況を見て、仲間を募って翻訳することにしたという。

同プランのキーワードは、経済活性化、環境、社会的包容力の3つで、前2者の解は高密度都市形成への投資だという。即ち、グリーンベルトを保全し、その内側にいくつもの拠点を形成し、高密な都市空間を創っていくというもので、コンパクト・シティという言い方もしている。このコンセプトに沿った都市整備が活況の要因だそうだ。

また、2012年のロンドンオリンピック誘致の成功は、この延長上にあると評価されていた。これには3つ目のキーワード、社会的包容力が大きく寄与しているとの考えである。大意は多様な人種・民族との共生でそれが可能な社会環境の形成ということらしい。合わせて考えると、持続的な活力があり、かつ社会的包容力のある都市が国際都市であり、また、国際的に評価される都市ということであろうか。

2016年のオリンピックは、日本でも2都市が手を挙げているが、果たしてどちらかが国際都市として評価されるのかどうか。東京都出身の青山氏は、東京都が第一候補であると期待しつつも、アジアの票が取れないようならおぼつかないと懸念されていた。

(代表取締役 堀田 紘之)

---

---

### ●パーク&ライド(P&R)

---

---

都心部の渋滞緩和や環境改善を図る方法の一つとして、パーク&ライド(P&R)施策があります。先日、当社が携わっている業務の一環として、パーク&ライドに適用できそうな新たな駐車場候補地を調査してきました。適用駐車場の条件には、次のことが挙げられます。

- ・駅から概ね300m以内に立地していること(人が抵抗なく歩くことができる距離は、300m～400m程度とされているため)
- ・いつでも受け入れ可能な規模として20台以上の駐車スペースがあること

天気の良い平日に、駅から駅へと渡り歩き、駐車場を見て回った感想は次の3点です。

- ・大規模公園の駐車場はほとんど利用されていなかったため、一部のスペースでもP&R駐車場に利用できれば…。
- ・駅付近の広大な土地が未利用のまま放置されているところがあったので、土地所有者の協力を得てP&R駐車場に利用できれば…。
- ・駅前の商業施設駐車場にはかなりの空きスペースがあったので、これをP&R駐車場に活用できれば…。

このうち、特に有効だと思うのは、3点目の商業施設駐車場を活用する方法です。駅付近の好条件に立地する商業施設は、都内だけでも多数あります。利用者にとっては駅に近くて使いやすく、事業者にとっては駐車場の有効活用や利用客の増加が期待できます。ただし、P&R適用上の課題も多々あるため、駐車場の利用者と事業者、双方のメリットを生かしつつ、デメリットをなくす工夫を考え出さなければいけません。

我々コンサルタントとしても、多様な形態のP&Rがますます普及するよう、知恵を絞っていこうと思います。

(第一計画部 大野 学)

---

●目黒川の桜

---

今年も目黒川の桜が咲いて、今散りつつある。我が社は中目黒の目黒川沿いにあり、社員は、春、桜のトンネルを抜けて通勤・帰宅している。新宿御苑や上野恩賜公園などの公園内にある桜と異なり、目黒川の桜は川と道路との間に植えられ沿道の建物とともに、春の都市景観をつくる。

近年、中目黒では、住宅や古くからの商店が建て替えられ、洋服などのセレクトショップや飲食店などの出店が進んでおり「代官山化」しつつあるように感じられる。このようなまちの動きもあり、桜のシーズンには若者の来訪者が目立ちはじめ、年々花見客が増え続けている。また、沿道の小洒落た店舗が花見客を当てにした飲食サービスを行ったり、露店が出店したり、胡弓を奏でるストリートミュージシャンが雰囲気を盛り上げたりと、新しい花見のスタイルをつくっている。

空間の関係から目黒川沿いを歩いて花見をする人が主流であるが、道路の一面にレジャーシートを敷いて宴会を行うグループも少なくない。花見の期間も自動車の通行規制をしないため、自動車が通行する横、多くの歩行者が行き交う横で花見酒を飲んでいる。そのような風景を見て興ざめするとともに、目黒川沿いに都市の空間として広場を点在させることができれば、まちの楽しさの幅が広がり、さらなる賑わいの増加につながるだろうと感じている。

(第二計画部 内山 征)